

# レファレンスだより 2023年4月号 No.245

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

## ■レファレンス受付件数（2023年1月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
51	879	211	201	178
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
289	26	428	796	3059

（開館日 22日 一日平均 139件）

## 今月の特集！

# 自然散策



【清明】せいめい：二十四節季の一つ。新暦4月4、5日ごろにあたる。気候もすっかり温暖となり、桃やスモモの花が咲き、柳が緑にけむって、まさに清明（すがすがしい）と呼ぶにふさわしい。

～『平凡社大百科事典 8 スク・タイシ』平凡社 1985年より～  
寒い冬の日々から解放され、明るい春の日差しと共に、花が咲き、昆虫や鳥たちも活動をはじめめる季節となりました。今月は自然に親しむハイキングやピクニックの本、散歩の時間が楽しくなるような本などをご紹介します。

### サクラ前線ってなんだろう？

『どうしてわかるの？サクラが咲く日』

七尾 純／著 アリス館 2002年 閉架書庫

『春の主役桜』

ゆのき ようこ／文 早川 司寿乃／絵 理論社

2006年 1階子23

### 散歩中の小さな発見！

『福岡 2版（ぶらっと散歩）』

昭文社 2016年 2階K1

『自然散策が楽しくなる！葉っぱ・花・樹皮で見わかる樹木図鑑』

山田 隆彦／監修 池田書店 2021年 分館所蔵

『散歩が楽しくなる雑草手帳』

稲垣 栄洋／著 東京書籍 2014年 分館所蔵

『身近な「鳥」の生きざま事典』

一日一種／著 SBクリエイティブ 2021年 分館所蔵

### ハイキングとピクニック

『ハイキング・ハンドブック』

村上 宣寛／著 新曜社 2013年 分館所蔵

『子どもとはじめる日帰りハイキング』

森田 秀巳／著 JTB パブリッシング 2014年 分館所蔵

『50歳からはじめるハイキングの教科書』

加藤 庸二／監修 土屋書店編集部／編集 滋慶出版 土屋書店 2012年 分館所蔵

『母と子のためのハイキング&キャンプ』

東 麻吏／編・著 地球丸 2017年 分館所蔵

『ピクニックの楽しい時間』

桑原 奈津子／著・料理スタイリング  
ピエ・ブックス 2008年 分館所蔵

『箱詰めもてなしレシピ』

いづい さちこ／著 誠文堂新光社 2016年 分館所蔵

？ 質問：「葡萄色」を、なぜ「えびいろ」と読ませるのか



回答：下記の資料によると、昔は「葡萄」を「エビ」と読んでおり、葡萄色は山葡萄の古名「葡萄葛（エビカズラ）」から色名が生じたようです。

時代によって「葡萄色（えびいろ）」は色味が変わっているようです（②⑤より）。植物のエビカズラは暗紫色だったらしいが（①より）、「葡萄色（えびいろ）」は赤みをおびた薄い紫色（①より）、薄紫色（②の枕草子からの考察）、赤みを帯びた紫色（②より）、暗い赤（④より）、薄い赤紫色（⑤より）、青味薄い紫色（⑤より）など、さまざまに説明されています。（参考：③④にヤマブドウの写真掲載あり）



調査に利用した図書館資料

- ①『日本の色 目で遊び、心で愛でる』（学研 2004年）1階62 757.3/ニ  
p.113 葡萄えび 「赤みをおびた薄い紫色。山葡萄（やまぶどう）の古名を「葡萄葛（えびかずら）」というが、そこから葡萄色という色名が生じた。」
- ②『色の名前で読み解く日本史』（中江 克己／著 青春出版社 2003年）1階62 757.3/ナ
- ③『すぐわかる日本の伝統色』（福田 邦夫／著 東京美術 2005年）1階62 757.3/フ
- ④『色の名前』（近江 源太郎／監修 ネイチャー・プロ編集室／構成・文 角川書店 2000年）1階62 757.3/イ
- ⑤『京の色事典 330 コロナ・ブックス』（藤井 健三／監修 コロナ・ブックス編集部／編 平凡社 2004年）1階62 757.3/キ
- ⑥『有職植物図鑑』（八條 忠基／著 平凡社 2022年）2階E8 472.1/ハ  
p.170～エビヅル 典拠文献の掲載あり。海老色についても言及あり。

？ 質問：ロシアの軍人「オレグ・ペニコフスキー」とはどのような人物か、書かれた本はあるか。



回答：ロシア地域の人名事典などを確認しましたが記載は見当たりませんでした。そこでインターネットで調査し、ロシアの軍人でスパイであるとの情報を得ました。当館には以下のような資料があります。

- ①『スパイ大事典』  
（ノーマン・ポルマー／著 トーマス・B.アレン／著 論創社 2017年）  
2階D7 R391.6/ホ  
p659～662「ペニコフスキー、オレグ」
- ②雑誌『中央公論』1966年2月号（中央公論新社）閉架書庫  
p.262～289 私はフルシチョフを憎む ペニコフスキー O, 橋田 正二 訳  
p.290～297 「ペニコフスキー文書」の内幕 橋田 正二
- ③『GRU：ソ連軍情報本部の内幕』  
（ビクトル・スヴォーロフ／著 出川 沙美雄／訳 講談社 1985年）  
閉架書庫 391/ス





質問：“ループ”と“〇〇理論”のような言葉が入った名前の理論について知りたい。理系ではないため、あまり専門的ではない本が良い。



回答：インターネットで“ループ”、“理論”などを検索すると“ループ量子重力理論”という理論名が見つかりました。この理論との事だったので“ループ量子重力理論”に関する以下のような資料を紹介しました。

■図書

- ①『すごい物理学講義』（カルロ・ロヴェッリ／著 竹内 薫／監訳 河出書房新社 2017年）1階ポ65 420/0
- ②『世の中ががらりと変わって見える物理の本』（カルロ・ロヴェッリ／著 竹内 薫／監訳 河出書房新社 2015年）1階ポ65 421/0

■雑誌

- ③『日経サイエンス 日本版』2004年4月号（日経サイエンス社）閉架書庫  
「特集 時空の原子を追うループ量子重力理論」p24-43  
⇒こちらは同雑誌の別冊186「実在とは何か？」（日経サイエンス編集部 編 2012年8月22日）にも再掲されている。

■その他

- ・上記①②の著者カルロ・ロヴェッリが「ループ量子重力理論」を提唱しているため、著者の作品もある。
- ・“カルロ・ロヴェッリ”や“ループ量子重力理論”のキーワードでインターネット検索すると、ある程度の情報が出てくる。



質問：緒方貞子氏が、UNHCR国連難民高等弁務官を辞する際のスピーチ全文を見たい。



回答：以下のような資料があります。

■インターネット

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR：The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees）【<https://www.unhcr.org/>】

>About Us>The High Commissioner>Previous High Commissioners

歴代の国連難民高等弁務官がわかる。緒方貞子氏は、1991年から2000年の10年間国連難民高等弁務官を務めた。2022年のスピーチであることがわかったので、同じUNHCR【<https://www.unhcr.org/>】のサーチボックスで文書を検索したところ、2000年の12月20日付で、「“Don’ t be bureaucratic” departing Ogata tells UNHCR」というタイトルの文書を発見。緒方氏の退職の挨拶の模様を記した文書で、スピーチの引用はあるが全文ではない。退職の後の非公式な挨拶なのでUNHCRに文書は残っていなかった。

■所蔵資料

- ①『難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方』（中村 恵／著 平凡社 2022年）1階Y55 Y289/カ/YA  
緒方貞子氏関連の著作を調査し、上記の資料に該当の文章の掲載を発見。本文で紹介されるとともに、巻末で「国連難民高等弁務官退官にあたってのスピーチ 2000年12月20日、UNHCR本部（ジュネーブ）にて」と題された英語全文と筆者による日本語訳が掲載されている。
- ②『The turbulent decade 1st ed. : confronting the refugee crises of the 1990s』（Sadako Ogata foreword by Kofi Annan. W. W. Norton 2005年）閉架書庫 F702ENG/369.38/OG  
この文章の出典である緒方氏の著作（英語）の所蔵もあり。



『牧野万葉植物図鑑』

(牧野 富太郎／原著 邑田 仁／編集 北隆館 2022年) 2階 E2 R470.38/7

植物分類学の研究者であった牧野博士が、晩年に企画していた『万葉植物図譜』の再現を目指し、『万葉植物図』『万葉植物目録』『万葉植物図譜原稿』の3つの資料を基に出版された植物図鑑です。解説は牧野博士の著作を参照し執筆されています。また、牧野博士が『植物研究雑誌』『植物記』等、その植物について記した文章を引用し紹介しています。植物図は水島南平氏がその多くを描き、牧野博士や他5人により描かれています。図の多くは花や茎の断面、果実、葉の葉脈、おしべやめしべの付き方、根の様子など微細で鮮やかな図が描かれています。図の枠外に万葉歌が書かれているものなど万葉集で詠われた歌が万葉例歌とし紹介されています。

使ってみました⇒「やまぶき」について調べる

巻末の和名索引、学名索引、もしくは五十音順に並べられた和名から当該植物を調べます。P303に「やまぶき」あり。3ページにわたり植物の説明、カラー図(一部モノクロ図)、「やまぶき」が詠われた万葉歌が記載されています。鮮やかな黄色の一重の花と八重の花とそれぞれ描かれています。おしべ、めしべ、一重の花にのみ実るという果実や茎の断面も描かれ、図の右下に「水島南平筆」「牧野検印」と押印されています。万葉例歌として「山吹の咲きたる野辺のつほすみれ この春の雨に盛りなりけり」など万葉歌9首が紹介されています。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	ニュー・クリエイター・エコノミー	_____	ビー・エヌ・エヌ	706.7/ニ
	言語はこうして生まれる	モーテン・H.クリスチャンセン／著 ニック・チェイター／著 塩原 通緒／訳	新潮社	801.04/ク
社会	子どものための法律相談	第一東京弁護士会子ども法委員会／編	青林書院	369.4/コ
	サイバネティックスの革命家たち	エデン・メディーナ／著 大黒 岳彦／訳	青土社	332.66/メ
自然	認知症と軽度認知障害の人および家族介護者への支援・非薬物的介入ガイドライン 2022	「認知症と軽度認知障害の人および家族介護者への支援・非薬物的介入ガイドライン 2022」作成委員会／著	新興医学出版社	493.75/ニ/
	解説「宇宙資源法」	小林 鷹之／編著 大野 敬太郎／編著	第一法規	538.9/カ



今月の展示 ～総合図書館2階 主題別(専門書)・国際・国連 展示のご案内～

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》 「うた」を楽しむ

《社会科学》 イギリスを知る

《自然科学》 植 物

《国 際》 日本に、暮らす。

《IF RCI》 図書館の使い方

《国 連》 国連×宇宙